



\* 2014 年 10 月 17 日、米国にて発表されたプレスリリースの全訳です。  
同発表に関するカンファレンス・コール/ウェブキャスト再生、プレゼンテーション資料、および関連資料等は、  
GE ウェブサイト内「インベスター・リレーション」(\*英語のみ)をご覧ください。

**GE、2014 年度第 3 四半期の業績を発表**

**2014 年度第 3 四半期の 1 株当たり営業利益 (Operating EPS) は 6% 増の 0.38 ドル**  
**産業部門の利益は 9% 増、営業利益率は 90 ベースポイント増**  
**産業部門の内部売上成長率は 4% 増、2014 年末の目標である 4~7% 増を高レベルで達成見込み**  
**受注高は 22% 増、受注残高は前年同期比 210 億ドル増の 2,500 億ドルで過去最高を記録**  
**2014 年度の業績予測は変更なし**

**2014 年度第 3 四半期の決算ハイライト**

- 1 株当たり営業利益 (Operating EPS) は 6% 増の 0.38 ドル
- 産業部門の利益は 9% 増、今年度累計は 10% 増
- 産業部門の内部売上成長率は 4% 増、今年度累計は 5% 増
- 利益率は 90 ベースポイント増、今年度累計は 50 ベースポイント増
- 受注高は 22% 増、成長市場向けは 34% 増、米国向けは 25% 増
- 2014 年度累計キャッシュフローは 72 億ドル、うち 38 億ドルを第 3 四半期中に創出
- GE キャピタル・コーポレーション (GECC) の現金および現金同等物を除く最終正味投資額 (ENI) は、前年比 5% 減の 3,650 億ドル

2014 年 10 月 17 日【米国コネチカット州フェアフィールド】

GE は本日、2014 年度第 3 四半期の業績を発表しました。当四半期の営業利益は 38 億ドル、1 株当たり営業利益は前年同期比 6% 増の 0.38 ドルでした。一般会計基準 (GAAP) ベースの継続事業からの利益は 35 億ドル、1 株当たり利益は 6% 増の 0.34 ドルとなりました。当四半期の売上高は前年同期比 1% 増の 362 億ドルでした。

GE のジェフ・イメルト会長兼 CEO は次のように述べています。「GE は堅調な四半期業績を達成しました。産業部門の利益が 9% 増加し、利益率も拡大しました。先行き不透明な環境ではありますが、GE はインフラストラクチャの拡大機会を捉えています。これは受注高の順調な増加や利益率拡大にも表れています。当四半期中は、シンクロニー・ファイナンシャルの IPO 完了、アプライアンス事業の売却といったポートフォリオ戦略を継続的に実行しました。」

産業部門の利益は 9% 増の 43 億ドルで、産業部門の利益率は 90 ベースポイント増でした。産業部門の内部売上成長率は 4% 増でした。当四半期中の受注高は 22% 増で、6 部門のうち 5 部門で増加しました。成長市場の受注高は 34% 増で、9 つの成長地域のうち 5 つの地域で増加しました。産業部門の今年度末の内部売上成長率は、目標値の 4~7% を高レベルで達成する見込みです。

当四半期末における設備・機器およびサービスの受注残高は過去最高の 2,500 億ドルで、前年同期比で 210 億ドル増加しました。当四半期中は新しいテクノロジーによって機器の受注高が 31% 増加しました。これには Tier 4 との互換性がある機関車 1,000 両以上、4 基の HA ガスタービン、および航空機エンジン「GE9X」の受注も含まれます。当四半期中のサービス受注高は 10% 増加しました。サービス事業拡大戦略の一環として、GE は 10 月に、インダストリアル・インターネット・プラットフォームである Predix™ を 2015 年から全ユーザー向けに提供すると発表しました。GE Predictivity™ ソリューションの 2014 年の売上は 10 億ドルを超える見込みです。

また当四半期中に GE は北米での個人向け金融事業であるシンクロニー・ファイナンシャルの IPO を完了しました。これはこの事業からの段階的な撤退のための最初の手続きです。GE はスプリットオフ取引によって、シンクロニー・ファイナンシャルからの撤退作業を 2015 年後半に完了したいと考えています。また当四半期中に GE はアプライアンス事業をエレクトロラックスに 33 億ドルで売却する契約を締結しました。これによって、今年度発表された売却累積額が 47 億

ルに達すると発表しました。この売却により、年度末の1株当たりの税引後利益が約0.05～0.07ドル増加する予定です。この2つの取引はいずれも通常の規制や当局の承認を必要とします。GEはアルストムのパワー&グリッド事業の買収承認に向けた作業を継続しており、2015年中の完了を目指しています。GEはアルストムの契約が2015年度の利益増に寄与し、2016年には1株当たり0.06～0.09ドル増につながると予想しています。これらの取引により、GEは利益の75%を産業分野事業で達成するという戦略を実行しています。

簡素化と提供する付加価値の改善によって、当四半期中にGEの利益率は前年比90ベースポイントも増加し、当四半期中に7つの事業のうち6つで利益率が増加しました。GEは事業の簡素化という目標を順調に達成しています。GEは今年度中にコスト削減目標10億ドル以上を達成することを目指しています。2014年度の累積コスト削減額は6億7,400万ドルです。

GE キャピタル・コーポレーション(GECC)は引き続き、コア事業以外の規模縮小を進めています。当四半期終了時の現金および現金同等物を除くGE キャピタルの最終正味投資額(ENI)は、前四半期から65億ドル減、前年同期比5%減の3,650億ドルでした。GE キャピタルは北欧で展開している個人向け金融事業であるGE マネーバンクの売却を2014年第4四半期中に完了する予定です。さらに、GE キャピタル・アビエーション・サービスは今週、ヘリコプターリース会社であるマイルストーン・アビエーション・グループを17億8,000万ドルで買収する契約を締結したと発表しました。この買収は、GEの産業分野事業と統合したコア分野での成長を目指すGE キャピタルの戦略的計画に沿ったものです。GECCのバーゼル1規制に基づくTier1予想普通資本比率は前年同期比79ベースポイント増の12.1%で、正味金利マージン(純資金利ざや)は5%と堅調でした。GECCはこれまでに、親会社であるGEに対して22億ドルの配当を支払いました。

営業活動による累積キャッシュフロー(CFOA)は72億ドルで、2014年中のCFOA目標140～170億ドルを達成する見込みです。現金および現金同等物の当四半期末残高は900億ドルでした。GEは2014年度前半に84億ドルを株主に還元しました。このうち66億ドルが配当で、18億ドルが株式買戻しでした。

イメルトは最後に次のように述べています。「2014年度の業績予想に変更はなく、目標達成に向けてまい進しています。産業部門の累積利益は10%増で、累積利益率は50ベースポイント増です。GECCは親会社に利益を還元しています。将来性の高いM&Aと、株主への利益還元によって、バランスのよい資本分配を行っています。また今年度のポートフォリオ変動によって、GEはコアインフラストラクチャとテクノロジーに重点を置いた体制を確立いたしました。多額の受注残、市場の多様化、固定的な売上、確立したコスト分散プログラムによって、先行き不透明な環境においても、引き続き優れた業績を達成できる見込みです。」

## 2014年第3四半期の決算ハイライト

**2014年第3四半期の営業利益**は、前年同期比3%増の38億ドル、1株当たり営業利益は前年同期比6%増の0.38ドルでした。一般会計基準(GAAP)ベースの継続事業からの利益(GEに帰属するもの)は前年同期比6%増の35億ドル、1株当たり利益は前年同期比6%増の0.34ドルでした。

非継続事業の実績を含めると、2014年第3四半期のGEに帰属する純利益は35億ドル、1株当たり利益は0.35ドルでした。前年同期の実績は32億ドル(1株当たり0.31ドル)でした。

**当四半期の売上高**は1%増の362億ドルでした。産業部門の売上高は前年同期比3%増の260億ドルでした。GECCの売上高は前年同期比1%減の105億ドルでした。

GEの営業活動による2014年度累計キャッシュフロー合計は72億ドルで、このうち38億ドルを当四半期中に創出しました。産業分野の営業活動によるキャッシュフローの今年度累積は50億ドルで、このうち30億ドルを当四半期中に創出しました。

GEは本日8:30 a.m. ETにウェブキャストで第3四半期の業績予測を発表します。この内容は[www.ge.com/investor](http://www.ge.com/investor)でもご確認いただけます。関連するチャートがGEのウェブサイトに掲載されていますので、ウェブキャストの前にご覧ください。

\* \* \*

## GE について

GEは、世界が直面している困難な課題に取り組む企業です。人材とテクノロジーを最大限活用して、インフラ構築、電力供給、運輸や医療、金融に関わるソリューションを提供しています。日本においてGEは、より安全でクリーンなエネルギーの供給や、急速に進む高齢化に対応する医療サービスなどに取り組んでいます。これらの課題を解決するために、技術革新を進め、ステークホルダーと協働して、日本の再生と持続的な成長を目指しています。エジソンを創始者とするGEは、イマジネーションを大事にするとともに、実行する会社でもあります。課題解決のために行動を起こす、それがGEです。日本におけるGEの活動については、<http://www.ge.com/jp/>をご覧ください。

GEの投資家向けウェブサイト [www.ge.com/investor](http://www.ge.com/investor)、コーポレート・ブログ [www.gereports.com](http://www.gereports.com)、当社のFacebookページおよびTwitterアカウント(@GE\_Reportsを含む)にはGEに関する情報のほか、財務や投資家の皆さま向けの情報が多数掲載されています。これらのウェブサイトにおいて、情報の更新および新たな情報掲載がなされるため、投資家の皆様には随時ウェブサイトをご覧くださいことを推奨いたします。

## 「将来予想に関する記述」について

この文書には「将来予想に関する記述」、すなわち過去の出来事ではなく、将来に関する記述が含まれています。「将来予想に関する記述」では、予想される将来の業績、財務成績、財政状況にしばしば言及し、「期待する」、「予想する」、「つもりである」、「計画する」、「信じる」、「探し求める」、「見込む」、「～であろう」、「～だろう」、「～を目指している」といった言葉を含むことがよくあります。将来予測に関する記述は、収益予想、1株当たりの収益、売上、内部売上成長率、利益率、コスト構造、再編費用、キャッシュフロー、資本回収率、資本分配または資本構造、配当、インダストリアル部門とGEキャピタルの利益配分など、様々なレベルで不確定な事項を含んでいます。GEの実際の業績は、「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。その原因となり得る不確実性には、金利や為替レートの変動および商品価格・株価・金融資産価値を含む現在の経済・金融状況、GEキャピタル・コーポレーション(GECC)の資金調達の可能性やそれに伴う費用、取引先に対するGECCのリスク、予定しているGECCの資産レベル縮小のための当社の能力に影響を及ぼす、経済・金融市場の状況などが考えられます。また、法人金融・個人向け金融が債務不履行(デフォルト)になるリスク・レベルに影響を与え得る、住宅市場の状況および失業率の推移、当社の損失可能性見積もりを含む債務予想に影響を及ぼし得るWMCのモーゲージローン証券化に関する係争中または将来的な請求・訴訟、当社が現在の信用格付けを保持できる能力、および当社が信用格付けを保持できなかった場合に生じ得る、当社の資金調達費用や競争力への影響、四半期配当を計画どおりに実施する、もしくは自社株買いを計画どおりに実行する当社の能力に影響を及ぼし得る当社のキャッシュフローや利益および金融サービス規制や監督その他の要因、内定受注(コミットメント)/落札の成約率、定価での内定受注/落札後の実際の受注価格、当社の客先である主要産業からの需要およびこれらの顧客企業の経営状況に影響を及ぼす可能性がある航空機の早期廃棄やエネルギー需要の低下などの顧客の動向や展開、GEのリスク管理フレームワークの効果、法律および規制・捜査・法的手続・法令遵守リスクの影響(金融関連法令の影響を含む)、シンクロニーのスプリットオフを予定どおり行うことができないような市場環境の悪化、必要な銀行規制承認を取得する時期や能力、その他GEやシンクロニー・ファイナンシャルIに関連する要因、自社株買い戻しや買収・合併事業・売却などの戦略的行為の時期や規模などに変更を生じさせ、影響を及ぼす可能性のある、当社の資本配分計画、アルストムとの取引や提携などの発表済みの案件完了とそれによって予想している利益とコスト削減効果を実現する能力、買収した事業の統合や合併事業の成功、情報技術またはデータセキュリティ侵害が発生した場合の影響、2013年12月31日終了年度のForm 10-K年次報告書で「リスク要因」として記載したその他の要因が含まれます。こうした不確実性により、将来におけるGEの実際の業績は「将来予想に関する記述」で述べた内容と実質的に異なる可能性があります。GEは「将来予想に関する記述」を更新する義務は負いません。

この文書には「将来予想に関する財務情報」、すなわち現在と将来の予測に基づく情報が含まれています。実際の業績はこれとは実質的に異なる可能性があります。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
損益計算書  
(未監査)

9月30日までの3ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス(GECC)		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%	2014	2013	V%
<b>売上その他の利益</b>									
商品およびサービス売上	\$ 25,890	\$ 25,152	3%	\$ 26,025	\$ 25,262	3%	\$ 28	\$ 33	(15%)
その他の売上	258	363		236	271		-	-	
GECC の継続事業による売上	-	-		1,492	1,903		-	-	
GECC のサービス売上	10,026	10,146		-	-		10,423	10,573	
総売上その他の利益	36,174	35,661	1%	27,753	27,436	1%	10,451	10,606	(1%)
<b>売上原価および費用</b>									
商品売上原価、営業管理費 および一般管理費	28,283	28,135		23,563	23,492		5,107	4,963	
支払い利息およびその他の財務費用	2,357	2,445		377	338		2,093	2,224	
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	662	672		-	-		700	714	
貸倒引当金	957	789		-	-		957	789	
売上原価および費用合計	32,259	32,041	1%	23,940	23,830	-%	8,857	8,690	2%
<b>継続事業による利益 (税引前)</b>	3,915	3,620	8%	3,813	3,606	6%	1,594	1,916	(17%)
法人税等引当額(引当金)	(463)	(348)		(416)	(344)		(47)	(3)	
<b>継続事業による利益</b>	3,452	3,272	6%	3,397	3,262	4%	1,547	1,913	(19%)
非継続事業による税引利益(損失)	57	(91)		57	(91)		57	(91)	
<b>純利益</b>	3,509	3,181	10%	3,454	3,171	9%	1,604	1,822	(12%)
非支配持分の純利益(損失)を除く	(28)	(10)		(83)	(20)		55	10	
<b>GE に帰属する純利益</b>	3,537	3,191	11%	3,537	3,191	11%	1,549	1,812	(15%)
優先株主配当	-	-		-	-		-	-	
<b>GE 普通株主に帰属する純利益</b>	\$ 3,537	\$ 3,191	11%	\$ 3,537	\$ 3,191	11%	\$ 1,549	\$ 1,812	(15%)
<b>GE 普通株主に帰属する利益:</b>									
継続事業による利益	\$ 3,452	\$ 3,272	6%	\$ 3,397	\$ 3,262	4%	\$ 1,547	\$ 1,913	(19%)
非支配持分の純利益(損失)を除く	(28)	(10)		(83)	(20)		55	10	
継続事業による利益									
GE に帰属する利益	3,480	3,282	6%	3,480	3,282	6%	1,492	1,903	(22%)
GECC 優先株主配当	-	-		-	-		-	-	
継続事業による利益									
GE 普通株主に帰属する利益	3,480	3,282	6%	3,480	3,282	6%	1,492	1,903	(22%)
非継続事業による税引利益(損失)	57	(91)		57	(91)		57	(91)	
<b>GE 普通株主に帰属する純利益</b>	\$ 3,537	\$ 3,191	11%	\$ 3,537	\$ 3,191	11%	\$ 1,549	\$ 1,812	(15%)
<b>継続事業による1株当たり利益</b>									
希釈化後	\$ 0.34	\$ 0.32	6%						
希釈化前	\$ 0.35	\$ 0.32	9%						
<b>1株当たり純利益</b>									
希釈化後	\$ 0.35	\$ 0.31	13%						
希釈化前	\$ 0.35	\$ 0.31	13%						
<b>期中平均株式数</b>									
希釈化後	10,119	10,223	(1%)						
希釈化前	10,039	10,151	(1%)						
<b>1株当たり配当額</b>	\$ 0.22	\$ 0.19	16%						

**GE 普通株主に帰属する利益:**

継続事業による利益	\$	3,480	\$	3,282	6%
調整 (税引後):					
営業外の年金コスト/(収入)		349		426	
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	\$	3,829	\$	3,708	3%
<hr/>					
希釈化後 1 株当たり営業利益	\$	0.38	\$	0.36	6%

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は [www.ge.com/ar2013](http://www.ge.com/ar2013) に掲載されている 2013 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
損益計算書  
(未監査)

9月30日までの9ヶ月間	連結			GE(a)			金融サービス (GECC)		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%	2014	2013	V%
<b>売上その他の利益</b>									
商品およびサービス売上	\$ 75,838	\$ 71,841	6%	\$ 76,262	\$	6%	\$ 89	\$ 90	(1%)
その他の売上	792	2,082		689			-	-	
GECCの継続事業による売上	-	-		5,289			-	-	
GECCのサービス売上	29,955	31,740		-	-		31,124	32,900	
総売上その他の利益	106,585	105,663	1%	82,240		3%	31,213	32,990	(5%)
<b>売上原価および費用</b>									
商品売上原価、営業管理費および一般管理費	83,484	81,245		70,053			14,558	14,706	
支払い利息およびその他の財務費用	7,116	7,648		1,142	988		6,325	6,994	
投資契約・保険損失・保険および年金給付	1,940	2,022		-	-		2,041	2,131	
貸倒引当金	2,895	3,256		-	-		2,895	3,256	
売上原価および費用合計	95,435	94,171	1%	71,195		4%	25,819	27,087	(5%)
<b>継続事業による利益</b>									
(税引前)	11,150	11,492	(3)%	11,045		(3)%	5,394	5,903	(9)%
法人税等引当額(引当金)	(1,172)	(1,166)		(1,143)			(29)	(100)	
継続事業による利益	9,978	10,326	(3)%	9,902		(4)%	5,365	5,803	(8)%
非継続事業による税引利益(損失)	28	(335)		28	(335)		33	(334)	
純利益	10,006	9,991	-%	9,930		-%	5,398	5,469	(1)%
非支配持分の純利益(損失)を除く	(75)	140		(151)	102		76	38	
<b>当社に帰属する純利益</b>	10,081	9,851	2%	10,081		2%	5,322	5,431	(2)%
優先株主配当	-	-		-	-		(161)	(135)	
<b>GE 普通株主に帰属する純利益</b>	\$ 10,081	\$ 9,851	2%	\$ 10,081	\$	2%	\$ 5,161	\$ 5,296	(3)%
<b>GE 普通株主に帰属する利益:</b>									
継続事業による利益	\$ 9,978	\$ 10,326	(3)%	\$ 9,902	\$	(4)%	\$ 5,365	\$ 5,803	(8)%
非支配持分の純利益(損失)を除く	(75)	140		(151)	102		76	38	
継続事業による利益									
GEに帰属する利益	10,053	10,186	(1)%	10,053		(1)%	5,289	5,765	(8)%
GECC 優先株主配当	-	-		-	-		(161)	(135)	
継続事業による利益									
GE 普通株主に帰属する利益	10,053	10,186	(1)%	10,053		(1)%	5,128	5,630	(9)%
非継続事業による税引利益(損失)	28	(335)		28	(335)		33	(334)	
<b>GE 普通株主に帰属する純利益</b>	\$ 10,081	\$ 9,851	2%	\$ 10,081	\$	2%	\$ 5,161	\$ 5,296	(3)%
<b>継続事業による1株当たり利益</b>									
希釈化後	\$ 0.99	\$ 0.98	1%						
希釈化前	\$ 1.00	\$ 0.99	1%						
<b>1株当たり純利益</b>									
希釈化後	\$ 0.99	\$ 0.95	4%						
希釈化前	\$ 1.00	\$ 0.96	4%						
<b>期中平均株式数</b>									
希釈化後	10,121	10,328	(2)%						
希釈化前	10,042	10,262	(2)%						
<b>1株当たり配当額</b>	\$ 0.66	\$ 0.57	16%						

**GE 普通株主に帰属する利益:**

継続事業による利益	\$	10,053	\$	10,186	(1%)
調整 (税引後):					
営業外の年金コスト/(収入)		1,035		1,279	
営業利益 (非 GAAP 財務指標)	\$	11,088	\$	11,465	(3%)
<hr/>					
希釈化後 1 株当たり営業利益	\$	1.09	\$	1.11	(2%)

(a) GECC を含めたエクイティ・ベースでの GE の産業事業分野が対象。

単位は百万ドルもしくは百万株。1 株当たりの単位はドル。補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GE と GECC 間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報は [www.ge.com/ar2013](http://www.ge.com/ar2013) に掲載されている 2013 年連結財務諸表の注記 1 を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
セグメント別業績の要約  
(未監査)

(単位:100 万ドル)	9月30日までの3ヶ月間			9月30日までの9ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
<b>売上(a)</b>						
パワー&ウオーター	\$ 6,375	\$ 6,498	(2%)	\$ 18,176	\$ 17,038	7%
オイル&ガス	4,597	4,315	7%	13,666	11,669	17%
エナジーマネジメント	1,813	1,828	(1%)	5,341	5,557	(4%)
アビエーション	5,698	5,364	6%	17,566	15,741	12%
ヘルスケア	4,485	4,304	4%	13,166	13,083	1%
トランスポート	1,540	1,406	10%	4,073	4,425	(8%)
アプライアンス&ライティング	2,117	2,098	1%	6,094	6,142	(1%)
全産業分野事業セグメントの売上	26,625	25,813	3%	78,082	73,655	6%
GE キャピタル	10,451	10,606	(1%)	31,213	32,990	(5%)
全セグメントの売上	37,076	36,419	2%	109,295	106,645	2%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(902)	(758)	(19%)	(2,710)	(982)	U
<b>連結売上およびその他の継続事業による利益</b>	\$ 36,174	\$ 35,661	1%	\$ 106,585	\$ 105,663	1%
<b>セグメント別利益(a)</b>						
パワー&ウオーター	\$ 1,191	\$ 1,289	(8%)	\$ 3,212	\$ 3,095	4%
オイル&ガス	660	519	27%	1,771	1,376	29%
エナジーマネジメント	59	18	F	133	64	F
アビエーション	1,264	1,091	16%	3,576	3,094	16%
ヘルスケア	727	665	9%	2,027	1,986	2%
トランスポート	342	306	12%	814	886	(8%)
アプライアンス&ライティング	88	77	14%	243	239	2%
全産業分野事業セグメントの利益	4,331	3,965	9%	11,776	10,740	10%
GE キャピタル	1,492	1,903	(22%)	5,128	5,630	(9%)
全セグメントの利益	5,823	5,868	(1%)	16,904	16,370	3%
セグメント間取引の消去および本社勘定(a)	(1,550)	(1,904)	19%	(4,566)	(4,131)	(11%)
GE 金利およびその他の金融手数料	(377)	(338)	(12%)	(1,142)	(988)	(16%)
GE 法人税引当金	(416)	(344)	(21%)	(1,143)	(1,065)	(7%)
継続事業による利益のうち GE に帰属する利益	3,480	3,282	6%	10,053	10,186	(1%)
非継続事業による税引利益(損失)	57	(91)	F	28	(335)	F
<b>GE に帰属する連結純利益</b>	\$ 3,537	\$ 3,191	11%	\$ 10,081	\$ 9,851	2%

(a) セグメント別利益は、セグメントに関連する売上とその他の収入の両方を含む。セグメント別利益の評価対象から除外される項目は、非継続事業、連結子会社の非支配持分の一部および会計処理変更による影響である。セグメント別利益は、セグメント別の経営評価方法に応じて、利息やその他財務費用、法人税等を算入する場合も、除外する場合もある。セグメント別利益からこれらを除外しているのは、パワー&ウオーター、オイル&ガス、エナジーマネジメント、アビエーション、ヘルスケア、トランスポート、アプライアンス&ライティングであり、これは営業利益とも言えるものである。セグメント別利益にこれを含めているのは金融事業(GE キャピタル)で、これは純利益とも言えるものである。シェアードサービス、従業員福利厚生、情報技術などの特定のコーポレートコストは、利用状況に応じて各セグメントに振り分けられている。残りのコーポレートコストの一部は、各セグメントの正味経費に比例して振り分けられている。2014年第2四半期から、GECCの優先株配当の効果を含むGEキャピタルセグメントの業績を報告する。この配当に伴うコストは、GEの業務セグメントサマリー(Company's Summary of Operating Segments)表のGEコーポレート項目と消去(Corporate Items and Eliminations)の行で報告済みである。GECC優先株主配当による影響を含むGEキャピタルセグメントの業績は、経営陣による財務サービス事業の現在の測定方法と整合している。過去の情報は現在のGEキャピタル測定方法に準じて再度分類している。



ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
セグメント別業績の要約(未監査)  
追加情報

(単位:100 万ドル)	9月30日までの3ヶ月間			9月30日までの9ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
<b>GE キャピタル</b>						
売上	\$ 10,451	\$ 10,606	(1)%	\$ 31,213	\$ 32,990	(5)%
セグメント利益	\$ 1,492	\$ 1,903	(22)%	\$ 5,128	\$ 5,630	(9)%
<b>売上</b>						
Commercial Lending and Leasing (CLL)	\$ 3,681	\$ 3,677	-%	\$ 10,874	\$ 11,091	(2)%
コンシューマー	3,622	3,683	(2)%	10,822	11,158	(3)%
リアル・エステート	697	689	1%	1,992	3,218	(38)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス	344	438	(21)%	1,120	1,084	3%
GE Capital Aviation Services (GECAS)	1,262	1,312	(4)%	3,952	3,973	(1)%
<b>セグメント利益</b>						
CLL	\$ 617	\$ 479	29%	\$ 1,722	\$ 1,702	1%
コンシューマー	621	898	(31)%	1,879	2,262	(17)%
リアル・エステート	175	464	(62)%	703	1,589	(56)%
エネルギー・フィナンシャル・サービス	61	150	(59)%	290	293	(1)%
GECAS	133	173	(23)%	828	825	-%

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
連結貸借対照表  
(未監査)

(単位:10 億ドル)	連結		GE(a)		金融サービス (GECC)	
	9月30日 2014	12月31日 2013	9月30日 2014	12月31日 2013	9月30日 2014	12月31日 2013
<b>資産</b>						
現金および有価証券	\$ 137.5	\$ 132.5	\$ 10.9	\$ 14.0	\$ 126.6	\$ 118.5
受取手形および売掛金	22.0	21.4	11.5	11.0	-	-
棚卸資産	19.4	17.3	19.4	17.3	0.1	0.1
GECCの金融債権 - 純額	226.6	241.9	-	-	237.4	253.0
固定資産 - 純額	65.5	68.8	16.7	17.6	49.1	51.6
GECCに対する投資	-	-	81.3	77.7	-	-
営業権・無形固定資産	92.2	92.0	65.4	64.6	26.9	27.3
その他の資産	79.7	80.0	24.6	23.7	62.3	63.9
売却対象事業の資産	5.8	0.1	2.6	-	3.2	0.1
非継続事業の資産	1.3	2.3	-	-	1.3	2.3
<b>純資産</b>	\$ 650.0	\$ 656.3	\$ 232.4	\$ 225.9	\$ 506.9	\$ 516.8
<b>負債および資本</b>						
借入金および銀行預金	\$ 374.1	\$ 383.0	\$ 16.6	\$ 13.4	\$ 358.5	\$ 371.1
投資契約・保険損失・ 保険および年金給付	27.5	26.5	-	-	28.0	27.0
その他の負債	102.0	106.1	79.1	81.0	29.4	31.8
売却対象事業の負債	1.7	-	0.8	-	0.9	-
非継続事業の負債	1.2	3.9	0.1	0.1	1.0	3.8
株主資本合計	135.0	130.6	135.0	130.6	86.3	82.7
非支配持分	8.5	6.2	0.8	0.8	2.8	0.4
<b>負債および資本合計</b>	\$ 650.0	\$ 656.3	\$ 232.4	\$ 225.9	\$ 506.9	\$ 516.8

(a) GECCを含めたエクイティ・ベースでのGEの産業事業分野が対象。

補足のデータを「GE」および「GECC」欄に示す。「連結」欄には、GEとGECC間の取引を含まない。連結および修正事項に関する詳細な情報はwww.ge.com/ar2013に掲載されている2013年連結財務諸表の注記1を参照のこと。

ゼネラル・エレクトリック・カンパニー  
GAAP データを補足する財務諸表データ

GAAP 基準で作成されていない連結財務諸表の情報を使用する場合があります。この種のデータは、SEC 基準では「非 GAAP 財務指標」として扱われます。こうした非 GAAP 財務指標は、本リリースで発表した GAAP 指標を補足するものであり、代替するものではありません。ここで取り上げるのは、営業利益、1 株当たり営業利益 (EPS)、産業分野事業セグメントの内部売上成長率、産業分野の活動による現金/現金同等物、およびキャッシュフロー (インダストリアル CFOA) の影響を除いた GE キャピタルの最終正味投資額 (ENI) です。これらのデータは後に最も比較に適した GAAP 基準と照合されます。

**営業利益および 1 株当たり営業利益**

(単位:100 万ドル。ただし、1 株当たり利益を除く)	9 月 30 日までの 3 ヶ月間			9 月 30 日までの 9 ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
継続事業からの利益	\$ 3,480	\$ 3,282	6%	\$ 10,053	\$ 10,186	(1%)
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	349	426		1,035	1,279	
<b>営業利益</b>	<b>\$ 3,829</b>	<b>\$ 3,708</b>	<b>3%</b>	<b>\$ 11,088</b>	<b>\$ 11,465</b>	<b>(3%)</b>
1 株当たり営業利益 - 希釈後(a)						
継続事業からの 1 株当たり利益	\$ 0.34	\$ 0.32	6%	\$ 0.99	\$ 0.98	1%
調整 (税引後): 営業外の年金コスト/(収入)	0.03	0.04		0.10	0.12	
<b>1 株当たり営業利益</b>	<b>\$ 0.38</b>	<b>\$ 0.36</b>	<b>6%</b>	<b>\$ 1.09</b>	<b>\$ 1.11</b>	<b>(2%)</b>

(a) 1 株当たり営業利益は項目ごと計算されています。その為、1 株当たり営業利益の数値を足し合わせると合計数値が異なる場合があります。

営業利益は、当社の主要な年金プランにおける非サービス関連の年金コスト (利息コスト、プラン資産の期待リターンおよび数理的損益の償却から成るコスト) を除外します。主要な年金プランのサービスコスト、以前サービスコストに含まれていた項目、および削減損失は営業利益に含まれます。これらの年金コスト項目は、当社従業員への年金給付における継続的サービス関連コストをより正確に反映しているため、経営陣ならびに投資家の皆様が当社の業績を判断する際に、営業利益を指標として提供することが有用であると考えます。GAAP 基準の年金コストにおけるその他項目は主に資本割り当て判断と市場のパフォーマンスに依存するため、これらの項目は当社の営業活動による業績とは別に管理しています。GAAP 基準および営業年金コストのいずれも、必ずしも当社の年金プランに関する現在または将来の資金需要の参考値となるものではありません。また、営業利益による財務指標を、対応する GAAP 財務指標と併せて参照することで、経営陣ならびに投資家の皆様が当社業績を他社業績と比較するのに有用な追加情報となると考えています。

## 産業分野事業セグメントの内部売上成長率

(単位:100 万ドル)	9月30日までの3ヶ月間			9月30日までの9ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
セグメント売上:						
パワ―&ウォーター	\$ 6,375	\$ 6,498		\$ 18,176	\$ 17,038	
オイル&ガス	4,597	4,315		13,666	11,669	
エナジーマネジメント	1,813	1,828		5,341	5,557	
アピエーション	5,698	5,364		17,566	15,741	
ヘルスケア	4,485	4,304		13,166	13,083	
トランスポート	1,540	1,406		4,073	4,425	
アライアンス&ライティング	2,117	2,098		6,094	6,142	
産業分野売上	26,625	25,813	3%	78,082	73,655	6%
以下の影響を除く:						
買収、事業売却 (投資目的で取得した事業の売却を除く)						
および為替レート	815	880		2,288	1,729	
買収、事業売却 (投資目的で取得した事業の売却を除く) および為替レートの影響を除く 産業分野事業セグメントの売上 (産業分野事業セグメントの本業による内部売上)	\$ 25,810	\$ 24,933	4%	\$ 75,794	\$ 71,926	5%

内部売上成長率とは、買収、事業譲渡(投資目的で取得した事業の売却を除く)および為替レートによる影響を除いた売上を測定するものです。前述の影響により、事業活動が大きな変動にさらされ、本来のトレンドが見えにくくなる可能性があるため、それらを除外したデータを提供することによって経営陣ならびに投資家の皆様が、確立され継続中の事業の業績やトレンドについて、より完全な形で理解して頂けると考えています。また、産業分野事業の本業による内部売上成長の情報を別途記載することにより、経営陣および投資家の皆様が当社の産業分野事業の事業トレンドを理解するのに有用な情報となり、他の非金融業の事業や企業とより直接的に比較することができると考えています。当社経営陣は、「内部売上成長率」という用語が他の企業および異なる状況においては、解釈が異なる可能性があることを認識しています。このデータは、異なる会社間の成長率(絶対数ベース)の比較にも効果を発揮する可能性があるものの、こうした評価基準はそれぞれの事業または企業におけるトレンドを評価するのに有用だと考えており、一定期間ごとの業績トレンドの比較に役立つ可能性のあるツールであると考えています。

## 現金および現金同等物を除く GE キャピタルの最終正味投資額(ENI)

(単位:10 億ドル)	2014年9月30日	2014年6月30日	2013年9月30日
GECC 純資産	\$ 506.9	\$ 509.6	\$ 520.7
非継続事業の資産を除く	1.3	1.5	2.6
無利子負債を除く	60.9	60.5	58.0
GE キャピタル ENI	444.7	447.6	460.1
現金および現金同等物を除く	79.9	76.3	76.3
現金および現金同等物を除く GE キャピタル ENI	\$ 364.8	\$ 371.3	\$ 383.8
2014年6月30日との差	\$ (6.5)		
2014年6月30日との差(割合)	(2%)		
2013年9月30日との差	\$ (19.0)		
2013年9月30日との差(割合)	(5%)		

ENI を使用して GE キャピタルセグメントの規模を測定しています。この測定方法では、通常の業務において資本支出が不要な、既存の無利子負債を調整することができるため、事業に必要な資本(債務または資本)の有効な指標になると考えています。また、将来的に発生する負債満期に備えて債券を発行することにより多額の現金が発生しますが、追加の資本調達のためには使用しないため、現金および現金同等物を除外することで、GE キャピタルセグメントのための資本が必要な資産を効果的に測定できると考えています。この測定方法によって、すでにお伝えしている金融サービスセグメントの縮小規模目標との比較が容易になることから、投資家の皆様にとって有用であると考えます。

## インダストリアル部門の営業活動によるキャッシュフロー(インダストリアル CFOA)

(単位:100 万ドル)	9月30日までの3ヶ月間			9月30日までの9ヶ月間		
	2014	2013	V%	2014	2013	V%
GEの営業活動(継続事業)で得たキャッシュ	\$ 3,804	\$ 4,131	(8)%	\$ 7,175	\$ 7,828	(8)%
GECCからの配当を除外	805	2,000		2,221	3,947	
GEの営業活動(継続事業)で得たキャッシュから GECCからの配当を除外(インダストリアル CFOA)	\$ 2,999	\$ 2,131	41%	\$ 4,954	\$ 3,881	28%

インダストリアル CFOA は GE が営業活動(継続事業)で得たキャッシュから GECC からの配当金を差し引いたものです。これには次の社内取引による影響が含まれます。GE から GECC へ販売された GE 顧客の受取債権、売上債権管理・資材調達などの GECC のサービス、ビルや機器(自動車を含む)の GECC から GE へのリース、GE から GECC への情報技術(IT)などのサービスの販売、GECC がリース用にサードパーティのメーカーから購入した航空機に搭載されている GE が製造した航空機エンジン、その他の投資、貸付金、会社運営諸経費の配分。GECC からの配当を除いた、GE の営業活動によるキャッシュフローの比較は投資家の皆様にとって有用な分析になると考えています。GECC からの配当金を除くのは、産業事業分野で得るキャッシュフローを反映しないこと、ならびに期毎に金融サービス事業の業績が大きく変動するためです。このキャッシュフローのデータは、産業事業と金融事業の双方を営む企業との比較には適さない可能性もありますが、GECC から得ている配当の額についての追加情報を得ることで、比較が可能になります。このデータは金融サービス(GECC)のキャッシュフロー報告書に記載されています。インダストリアル CFOA は、産業事業分野のキャッシュ創出能力を経営陣ならびに投資家の皆様が正確に判定し、他の非金融業の事業や企業と比較するのに有用と考えるため、GAAP 基準による CFOA 値を補足するデータを示しています。